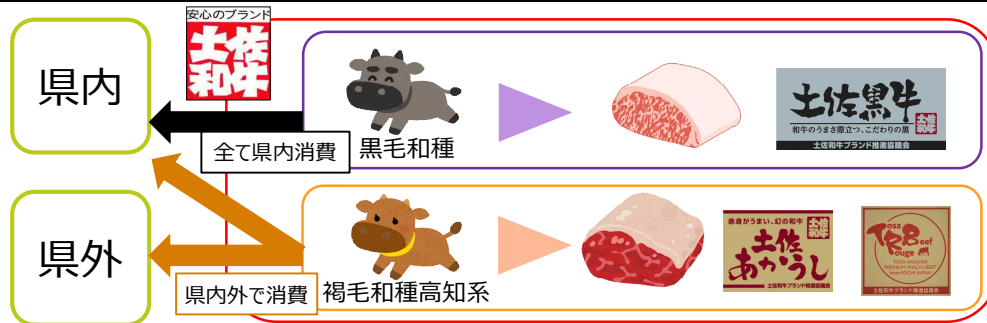


現状

「土佐あかうし」は外商の取組により、ブランド化に一定の成果
 県産黒牛のブランド化については、R6年度に4等級以上の牛肉を「土佐黒牛」と定義



【R5年度と畜頭数】
 ・黒毛和種：624頭
 ・褐毛和種：549頭

- ブランド定義（土佐和牛ブランド推進協議会）
- ・土佐和牛：県産和牛（黒毛和種・褐毛和種高知系）
 - ・土佐黒牛：「土佐和牛」のうち、4等級以上の黒毛和種
 - ・土佐あかうし：「土佐和牛」のうち、県内生まれ育ちの褐毛和種高知系
 - ・Tosa Rouge Beef：「土佐あかうし」のうち、TRB規格R4以上のもの

○土佐和牛ブランド推進協議会：H21年設立。県、JA高知県、食肉事業者などから構成。事務局はJA高知県

県産黒牛はほぼ全てが県内で消費されているが、県産和牛肉の県内自給率は23%程度にとどまる。

課題

- ・黒牛のブランドは、全国の有名産地に加え、商社や個人のブランドが乱立。国内外での産地間競争が激しい。
- ・後発ブランドである「土佐黒牛」は、県内産として手にとっていただける県内での認知度を上げていく必要

対策

県内の飲食店・量販店への需要喚起、取扱指定店制度の導入等により、「土佐黒牛」を積極的にPR。
 「土佐黒牛」ブランド認知度向上による需要創出を価格上昇と土佐黒牛の増頭につなげ、県内シェアを拡大

